

神殿再建③

シリーズ～築く～

2010/7/18

バビロン捕囚からの帰還

- 538 第1回帰還(キュロスによる解放)
- 536 神殿工事着工
- 520 神殿工事再開
- 515 神殿完成
- 458 エズラの帰還
 - エズラによる肅正(異民族との結婚の解消)
- 445 ネヘミヤの帰還
 - 第2世代の捕囚民。ペルシア王の献酌官。

ネヘミヤにもたらされた知らせ

□エルサレムの惨状

- 「捕囚の生き残りで、この州に残っている人々は、大きな不幸の中にあって、恥辱を受けています。エルサレムの城壁は打ち破られ、城門は焼け落ちたままです。」<1:3>

□ネヘミヤの嘆きと祈り

- 「これを聞いて、わたしは座り込んで泣き、幾日も嘆き、食を断ち、天にいます神に祈りをささげた。」<1:4>

ネヘミヤの祈り<1:5~11>

□ 主への賛美

- 「おお、天にいます神、主よ、偉大にして畏るべき神よ、主を愛し、主の戒めを守る者に対しては、契約を守り、慈しみを注いでくださる神よ。」

□ 悔い改め

- 「わたしたちはあなたに罪を犯しました。わたしも、わたしの父の家も罪を犯しました。あなたに反抗し、あなたの僕モーセにお与えになった戒めと掟と法を守りませんでした。」

□ 約束の確認

- 「どうか、あなたの僕モーセにこう戒められたことを思い起こしてください。...」

□ 願い

- 「どうか今日、わたしの願いをかなえ、この人の憐れみを受けることができるようにしてください。」

起こった奇跡<2:1~5>

□ 王の心配

- 「王はわたしに尋ねた。『暗い表情をしているが、どうかしたのか。病気ではあるまい。...』」

□ 祖国の惨状を訴える

- 「先祖の墓のある町が荒廃し、城門は火で焼かれたままなのです。」

□ 王の好意 「何を望んでいるのか」

□ ネヘミヤの願い

- 「わたしは天にいます神に祈って、王に答えた」
- 「わたしをユダに、先祖の墓のある町にお遣わしてください。町を再建したいのでございます。」

ビジョンが築く未来

- 困難な状況で抱くビジョン
 - 祖国の惨状を聞いて立ち上がったネヘミヤ
- ビジョンに導かれる祈り
 - 賛美・悔い改め・約束・願い
- ビジョンによる忍耐
 - 最初の知らせ～王の好意 約4ヶ月
- ビジョンが起こす奇跡
 - 献酌官でありながら許された帰国

ビジョン (ボブ・ローガン 教会開拓者)

- 神によるビジョンは、タイミングにおいて、教会にとって、人々にとって正しい
- 神によるビジョンは、恐れよりも信仰を生む
- 神によるビジョンは、人々を行動にかりたてる
- 神によるビジョンは、リスク(危険)を恐れない
- 神によるビジョンは人の栄誉ではなく、神の栄光を顕す

A godly vision is right for the times, right for the church, and right for the people. A godly vision promotes faith rather than fear. A godly vision motivates people to action. A godly vision requires risk-taking. A godly vision glorifies God, not people. Bob Logan